

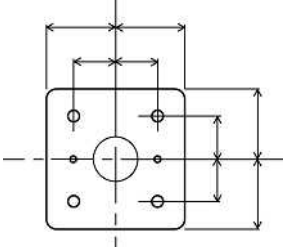
更新申請：申請型式で実際に使用する材料全てを列記する  
 新規申請：今回申請品の材料を記載する。

### パイプサポートの調書

型式：

寸法単位(mm)

構 成 部 分		材 質 ・ 外 径 ・ 肉 厚 ・ 直 径 ・ 板 厚	
材 質 ・ 寸 法	腰 管		抜 取 現 品
			前 回 抜 取 品
	差 込 管	今回申請品の材料を記入 新規申請時は記載不要	抜 取 現 品
			前 回 抜 取 品
	調 節 ね じ ( お ね じ )	前回申請品の材料を記入 新規申請時は記載不要	抜 取 現 品
			前 回 抜 取 品
	" ( め ね じ )		抜 取 現 品
		前 回 抜 取 品	
支 持 ピ ン		抜 取 現 品	
		前 回 抜 取 品	
受 板 及 び 台 板	SS400 6.0±0.6、Q275 6.0±0.6 (例) Q275 6.0±0.4	抜 取 現 品	Q275 6.0±0.6 (例)
		前 回 抜 取 品	SS400 6.0±0.6 (例)

構	最 大 使 用 長		差込管と腰管の重なり	
	腰 管 の 長 さ		めねじのねじ長さ	
造	受 け 板 及 び 台 板 の 寸 法			(ボルト穴径： )
				(釘 穴 径： )
	表 面 処 理 の 方 法	ドブメッキ・先メッキ・塗装・その他 ( )		
	表 示			

表面処理の方法により型式が異なる

(備考)

- 材質・寸法欄の「材質」には、更新申請時には実際に使用する材料をすべて列記すること。また、今回申請時（抜取現品）及び前回申請時（前回抜取品）の使用材料についてそれぞれ記載すること。  
新規申請時には今回申請時（抜取現品）の使用材料を記載すること。  
「外径」、「直径」、「肉厚」及び「板厚」は、複数の材料を使用する場合は対応する材質ごとに全てを記載すること。  
書ききれない場合は、別紙とすること。
- 表示欄には、製造者名（略号）、製造年及び上期・下期の別、型わく支保工用のものである旨等の、機材に表示される刻印を記載すること。
- 本調書に添付する図面は、製作図（上記記載事項のほか、性能に関係のある部分についても、材質、寸法、形状等を示すこと）を2部（更新は1部）、構造図を1部（別表示寸法表による）とすること。